

Kimura M, Hiyoshi Y, Niwa H, Kusuhara S, Harada S, Asakuma M, Otani S, Katono K, <u>Sasaki J</u> , Masuda N.	surface area in patients with non-small cell lung cancer harboring an EGFR mutation. Cancer				
Sakata S, <u>Sasaki J</u> , Saeki S, Hamada A, Kishi H, Nakamura K, Tanaka H, Notsute D, Sato R, Saruwatari K, Iriki T, Akaike K, Fujii S, Hirosako S, Kohrogi H.	Dose Escalation and Pharmacokinetic Study of Carboplatin plus Pemetrexed for Elderly Patients with Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer: Kumamoto Thoracic Oncology Study Group Trial 1002.	Oncology.	88	201-207	2014
Otani S, Hamada A, <u>Sasaki J</u> , Wada M, Yamamoto M, Ryuge S, Takakura A, Fukui T, Yokoba M, Mitsufuji H, Toyooka I, Maki S, Kimura M, Hayashi N, Ishihara M, Kasajima S, Hiyoshi Y, Katono K, Asakuma M, Igawa S, Kubota M, Katagiri M, Saito H, Masuda N.	Phase I and Pharmacokinetic Study of Erlotinib Administered in Combination With Amrubicin in Patients With Previously Treated, Advanced Non-Small Cell Lung Cancer.	Am J. Clin Oncol. (in press)			
<u>Fukui S</u> , Otoguro C, Ishikawa T, Fujita J.	Survey on the use of health consultation services provided in a Japanese urban public housing area with high elderly population.	Geriatrics & Gerontology International.	In press.		2015
<u>Fukui S</u> ,	Five types of	BMC Health	DOI:		2014

Yamamoto-Mitani N, Fujita J.	home-visit nursing agencies in Japan based on characteristics of service delivery: cluster analysis of three nationwide surveys.	Services Research.	1. 10. 2. 1186 3. /s129 13 4. -014 5. -0644 -8		
Fukui S, Yoshiuchi K, Fujita J, Ikezaki S.	Determinants of financial performance of home-visit nursing agencies in Japan.	BMC Health Services Research.	DOI: 10.1186/ /1472-6963 -14-11.		2014

雑誌（日本語）

小川朝生	がんとうつ病の関係	看護技術	60(1)	21-4	2014
小川朝生	精神科医療と緩和ケア	精神医学	56(2)	113-22	2014
小川朝生	高齢がん患者のサイコオンコロジー	腫瘍内科	13(2)	186-92	2014
小川朝生	患者・家族へのがん告知をどう行うか	消化器の臨床	17(3)	205-9	2014
小川朝生	DSM-5	プロフェッショナルがんナーシング	4(4)	402	2014
小川朝生	CAM	プロフェッショナルがんナーシング	4(4)	403	2014
小川朝生	HADS	プロフェッショナルがんナーシング	4(4)	404-5	2014
小川朝生	いまや、がんは治る病気	健康365	10	118-20	2014
小川朝生	急性期病棟における認知症・せん妄の現状と問題点	看護師長の実践！ナースマネージャー	16(6)	48-52	2014
小川朝生	認知症～急性期病院が向き合うとき（1）	CBnews management			2014
小川朝生	認知症～急性期病院が	CBnews			2014

	向き合うとき (2)	management			
<u>小川朝生</u>	認知症～急性期病院が向き合うとき (3)	CBnews management			2014
<u>小川朝生</u>	認知症～急性期病院が向き合うとき (4)	CBnews management			2014
<u>小川朝生</u>	認知症～急性期病院が向き合うとき (5)	CBnews management			2014
<u>小川朝生</u>	認知症患者のがん診療	癌と化学療法	41 (9)	1051-6	2014
<u>比嘉謙介</u> , <u>小川朝生</u>	肝癌に対する栄養療法と精神腫瘍学	臨床栄養	125 (2)	182-5	2014
<u>小川朝生</u>	高齢者を中心としたがん患者の大規模対面調査の実施-その意義と課題について	月刊新医療	41 (12)	22-5	2014
<u>阿部泰之</u> , <u>森田達也</u>	「医療介護福祉の地域連携尺度」の開発.	Palliat Care Res	9 (1)	114-120	2014
<u>森田達也</u> , 他	死と正面からむきあう—その歴史的歩みとエビデンス— 特集にあたって.	緩和ケア	24 (2)	85	2014
<u>竹之内裕文</u> , <u>森田達也</u>	死と正面からむきあう—その意義と歴史的背景—.	緩和ケア	24 (2)	86-92	2014
<u>森田達也</u>	看取りの時期の医学治療のトピックス.	緩和ケア	24 (2)	93-97	2014
<u>今井堅吾</u> , <u>森田達也</u> , 他	病態に応じた制吐薬の推奨を緩和ケアチームが行うことによる、がん患者の悪心に対する効果.	Palliat Care Res	9 (2)	108-113	2014
<u>小田切拓也</u> , <u>森田達也</u> , 他	気道分泌・死前喘鳴のマネジメント.	緩和ケア	24 (4)	276-282	2014
<u>森田達也</u>	緩和医療・支持療法を知る 疼痛管理の新標準.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	86 (8)	638-643	2014
<u>草島悦子</u> , <u>森田達也</u> , 他	終末期がん患者の死の不安と希望をめぐる苦悩に対するケア—緩和ケアに従事する多職種のスピリチュアルケア経験に関するインタビュー調査—.	臨床死生学	18/19 (1)	46-57	2014
<u>森田達也</u> , 他	緩和ケアの症状マネジメントup to date 特集にあたって.	緩和ケア	21 (5)	334	2014
<u>白土明美</u> , <u>森</u>	緩和ケアにおける薬物	緩和ケア	21 (5)	335-340	2014

田達也	療法のup to date—倦怠感と化学療法後神経障害性疼痛—				
森田達也, 他	2014年度診療報酬改定と“緩和ケア”への影響1.	緩和ケア	21(5)	361	2014
森田達也(プラン)	緩和ケア特集「いまさら聞けない」緩和ケアにおけるステロイドの使い方Q&A.	プロフェッショナルがんナーシング	4(5)	41-68	2014
森田達也	【ライフサイクルに応じた向精神薬の使い方】ターミナルケア・緩和ケア.	日医雑誌	143(7)	1497-1500	2014
森田達也	緩和ケアのスクリーニング—エビデンスと実践—	緩和ケア	24(6)	426-432	2014
菅野喜久子, 木下寛也, 森田達也, 宮下光全, 他	東日本大震災の被災沿岸地域の医療者へのインタビュー調査に基づく災害時におけるがん患者の緩和ケア・在宅医療のあり方に関する研究.	Palliat Care Res	9(4)	131-139	2014
森田達也	緩和ケア領域における臨床研究の課題と方法論.	薬局	65(13)	104-110	2014
馬庭真利子, 内富庸介, 他	脳腫瘍術後の器質性精神障害にpaliperidoneが有効であった1例	臨床精神薬理	17(1)	75-80	2014
樋口裕二, 内富庸介, 他	身体疾患とうつ病各種疾患・病態におけるうつ病・気分障害の合併の実情・がん治療・緩和ケアとうつ病	Depression Journal	2(2)	52-55	2014
樋口裕二, 内富庸介, 他	腫瘍医へのコミュニケーション技術訓練	Depression Frontier	12(2)	33-39	2014
黒田純子, 明智龍男, et al	新規制吐剤の使用開始前後における外来がん患者の予期性悪心の検討.	医療薬学	40	165-173	2014
明智龍男	大学病院で総合病院精神科医を育てる	総合病院精神医学	26	1	2014
明智龍男	総合病院における精神	臨床精神医学	43	859-864	2014

	科医のがん医療（サイ コオンコロジー）				
<u>明智龍男</u>	精神腫瘍学の進歩	最新がん薬物療法 学	72	597-600	2014
<u>明智龍男</u>	サイコオンコロジー— うつ病、うつ状態の薬 物療法・心理療法	心身医学	54	29-36	2014
古川壽亮, <u>明 智龍男</u> , et al	臨床現場の自然史的デー ータから治療効果を検 証する：名古屋市立大 学における社交不安障 害の認知行動療法	精神神経学雑誌	116	799-804	2014
古川壽亮, <u>明智 龍男</u> , et al	SUND 大うつ病に対す る新規抗うつ剤の最適 使用戦略を確立するた めの大規模無作為割り 付け比較試験	精神医学	56	477-489	2014
<u>福井小紀子</u>	在宅医療介護従事者に おける顔の見える関係 評価尺度の適切性の検 討.	日本在宅医学会誌	16(1)	5-11	2014
<u>福井小紀子</u> , 他	都市部公営団地に在住 する健康相談未利用者 における健康相談の必 要性に関する認識とそ の関連要因の検討.	日本公衆衛生学会 誌	60(12)	745-753	2014
石川孝子, <u>福井 小紀子</u> , 他	武蔵野市民の終末期希 望療養場所の意思決定 に関連する要因.	日本公衆衛生雑誌	61(9)	545-555	2014
大園康文, <u>福井 小紀子</u> , 他	終末期がん患者の在宅 療養継続を促進・阻害 する出来事が死亡場所 に与えた影響.	Palliative Care Research	9(1)	121-128	2014
大園康文, <u>福井 小紀子</u>	終末期を得意とする訪 問看護事業所の特徴： 経営状況、医療機関と の連携、および利用者 の特性との関連.	日本地域看護学会 誌	17(1)	4-11	2014
<u>福井小紀子</u>	エンド・オブ・ライフ ケアを地域で効果的に 進めるための多職種連 携のあり方.	日本在宅ケア学会 誌	18(1)	1-6	2014
<u>福井小紀子</u>	退院支援における意思 決定支援の重要性.	ナーシング・トゥ デイ	29(3)	15-20	2014
<u>福井小紀子</u>	「在宅医療連携拠点事 業」の成果と展望～	訪問看護と介護	19(1)	16-23	2014

	2025年に向けた「連携力」とは～.				
菅野喜久子, 木下寛也, 森田達也, 佐藤一樹, 清水恵, 秋山聖子, 村上雅彦, 宮下光彦.	東日本大震災の被災沿岸地域の医療者へのインタビュー調査に基づく災害時におけるがん患者の緩和ケア・在宅医療の在り方に関する研究	Palliat Care Res.	Vol.9	131-139	2014

